

# とうきょう すくわくプログラム活動報告書

第6回目 3月3日 9:00～10:45

康保会乳児保育所

## 1. 活動のテーマ

〈テーマ〉

音

〈テーマの設定理由〉

- ・音にどんな反応を見せるか
- ・楽器や身近にある物の音を聞かせて反応を見る

## 2. 活動スケジュール

- ・令和6年3月3日 1部 [9:00～9:45] 2部 [10:00～10:45] 全園児縦割りの二部制で行う
- ・春がきたよおひなさまコンサート～ヴァイオリンの二重奏と日本舞踊～に参加する

## 3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

＜準備物＞

- ・楽器
- ・パネルシアター『ひな祭り』

＜環境設定＞

- ・きりん組 大ホールで行う。
- ・マット
- ・ひな人形

## 4. 探求活動の実践

〈活動の内容〉

- ・聞いてみよう
- ・見てみよう
- ・想像してみよう、見てみよう
- ・見てみよう、歌ってみよう
- ・踊ってみよう
- ・打楽器を鳴らしながら歌おう
- ・みんなで踊ろう

〈活動中の子どもの姿・声、子ども同士や保育者とのかかわり〉

- ・日本舞踊で、時々足を「ダン」と踏み鳴らす場面では、驚いていた子も居たが、扇子をユラユラと揺らしながら踊る場面では、真似をして腕を揺らしている子もいた。日本舞踊の先生の姿が見えなくなったり、また現れたりメリハリがあり集中して見ていた。
- ・バイオリンの音色には慣れてきて、音に驚く子などは居なく、演奏中の弓の動きを真似する子もいた。
- ・最初の「さくらさくら」は単調な曲調が続いた為か、1歳児の中には、集中力が切れてしまい、舞台ではなく部屋の様子を眺めたり、立ち上がって移動している子もいた。
- ・“踊ってみよう”では、耳馴染みのある曲だった為か反応が良く、手拍子したり体を揺らすなどをして楽しんでいた。また「前に出たい子でおいでー」の声掛けでみんなの前に立って歌ったり踊ったりすることができ、バイオリンとの一体感が生まれた。

### 〈活動中の様子〉



### 5. 振り返り

#### 〈振り返りによって得た保育士の気づき〉

- ・初めての日本舞踊は、0歳児の方が集中して見ていた。
- ・1歳児だと単調な曲が続くと飽きてしまう子もいて、ゆったりとした曲調は気持ちが落ち着くのか、子ども達の動きや反応は少なく、曲調が早い方が手拍子や体を揺らす等の動きが見られる。
- ・以前は楽器を選ぶというよりは、持った楽器を揺らして音が出るのを楽しんでいるようだったが、好みや興味が出てきて、自分で選んで持つ子が増えた。

#### ＜来年度へ＞

今年度は0、1歳児が対象だったが、次年度は1,2歳児を対象でテーマのベースは、引き続き「音」で、何かプラスして行う。 例)「音と光」